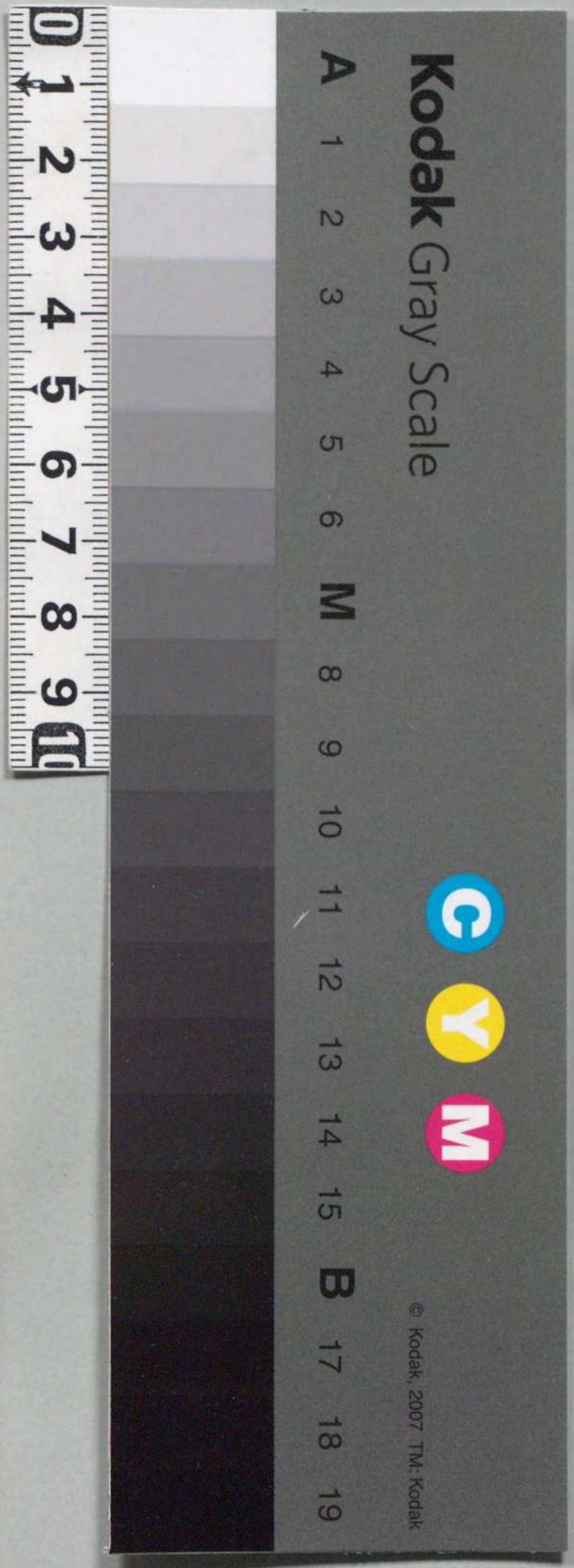


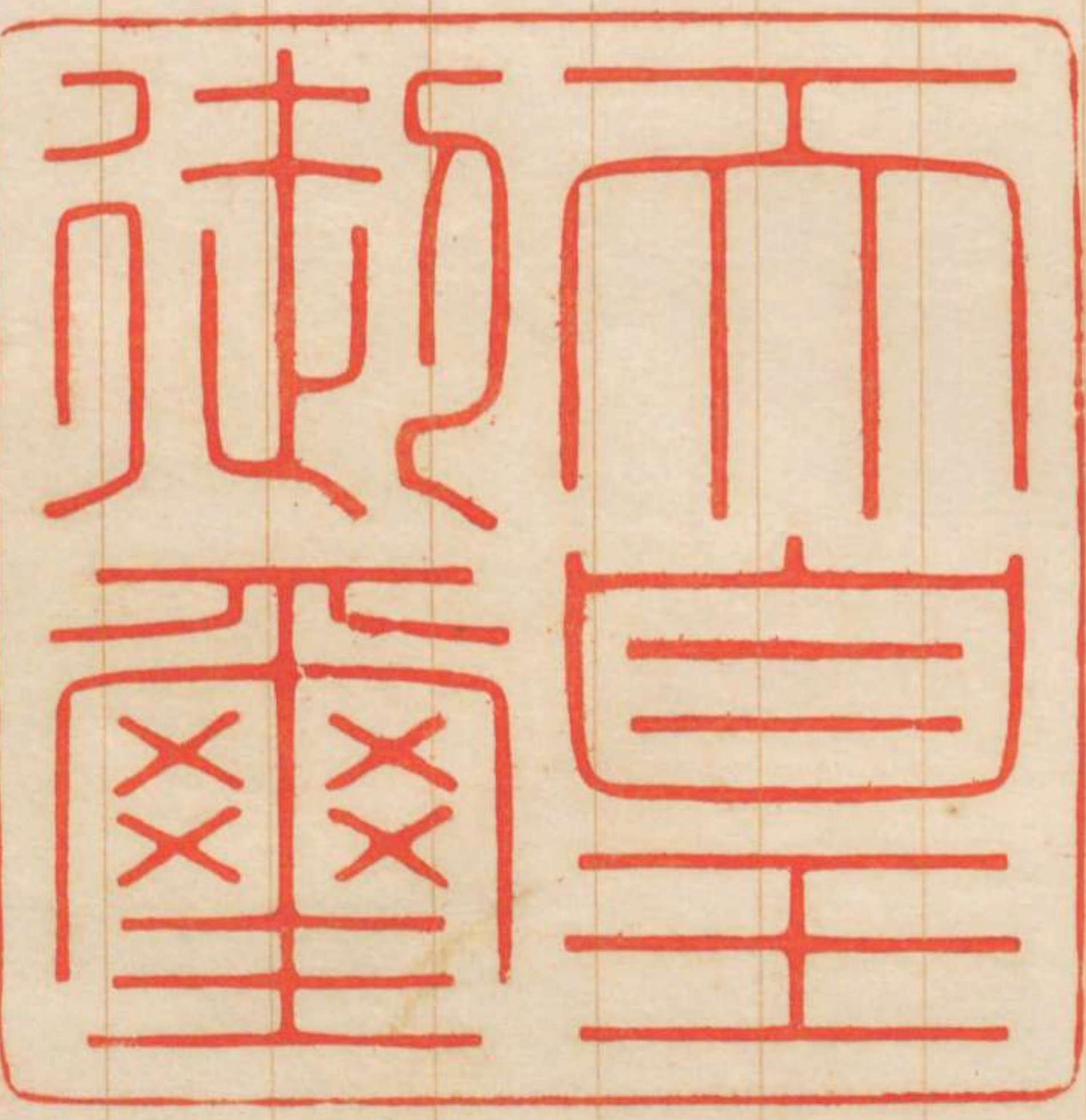
勅令第三万八千八百





朕海軍機關學校條例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ
公布セシム

睦仁



明治二十六年十一月二十九日

日

月

海軍大臣伯爵西郷從道

勅令第二百十八號

海軍機關學校條例

第一條 海軍機關學校ハ之ヲ横須賀ニ

置キ海軍機關官ト爲ルヘキ生徒ヲ教

育シ並ニ海軍少機關士候補生ニ技術

ヲ專修セシムル所トス

第二條 海軍機關學校ノ學科ヲ本科及

專科ノ二種トス

本科ハ生徒ノ修ムルモノトシ專科ハ

造船、造機及造兵ノ三科ニ別テ本科卒

月 局

業後其ノ科ニ特選セラレタル海軍少
 機関士候補生ノ修ムルモノトス
 第三條 専科ヲ修ムル海軍少機関士候
 補生ヲ専科生ト稱ス
 第四條 生徒ノ學年ハ四箇年トシ専科
 生ノ學年ハ二箇年トス
 第五條 海軍機関學校ニ工場ヲ置キ實
 習ノ用ニ供ス
 第六條 海軍機関學校ニ左ノ職負ヲ置
 ク

校長	海軍機関大監	一人
副官	海軍大機関士	一人
教頭	海軍機関少監	一人
教官	海軍機関少監一人	兼補ス
	海軍大機関士四人	海軍教
	授四人	
監事長	海軍機関少監	一人
監事	海軍大機関士	四人
軍醫長	海軍大軍醫	一人
主計長	海軍大主計	一人

主計 海軍少主計 一人

前項定員ノ外本職アル者ヲシテ教官ニ兼務セシムルコトヲ得

第七條 校長ハ海軍大臣ニ隸シ校務ヲ管理シ紀律ヲ維持シ及教育ノ責ニ任ス

第八條 校長事故アルトキハ教頭其ノ職務ヲ代理ス

第九條 副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

第十條 教頭ハ校長ノ命ヲ承ケ教授ノ

事ヲ監督ス

第十一條 教官ハ教頭ノ命ヲ承ケ各學科ノ教授ヲ擔任ス

第十二條 監事長ハ校長ノ命ヲ承ケ專科生及生徒ヲ監督シ其ノ紀律ヲ維持シ其ノ體育ノ事ヲ掌ル

第十三條 監事ハ監事長ノ命ヲ承ケ服務ス

第十四條 軍醫長ハ校長ノ命ヲ承ケ醫務衛生ノ事ヲ掌ル

第十五條 主計長ハ校長ノ命ヲ承ケ會

計給與ノ事ヲ掌ル

第十六條 主計主計長ノ命ヲ承ケ服務ス

第十七條 第六條ニ掲クル職員ノ外左

ノ諸員ヲ置キ上官ノ命ヲ承ケ服務セ

シム

海軍機關師 教員 二人

海軍下士 教員 四人

海軍書記 三人

海軍技手 教員 十一人内七人ハ兼務

第十八條 生徒ハ年齡滿十六年以上十

九年未滿ニシテ海軍機關官タラシコ

トヲ志願スル者ニ就キ身體檢査及學

術試験ヲ爲シ合格シタル者ヨリ其ノ成績

順序ニ從ヒ所要ノ人負ヲ採用ス

第十九條 左ノ諸項ノ一ニ該ル者ハ生

徒ニ採用セス

一 有妻ノ者

二 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル

者及賭博犯ノ處分ヲ受ケタル

者

三 復權ヲ得サル家資分散者破産者及身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ辦償ヲ終ヘサル者若クハ其ノ相續人

第二十條 生徒ノ召募及檢査格例ハ毎年海軍大臣之ヲ告示ス

第二十一條 生徒ハ入校ノ日ヨリ海軍兵籍ニ編入ス

第二十二條 生徒ハ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ス

第二十三條 生徒ハ左ノ諸項ノ一ニ該ルトキハ之ヲ退校セシム

一 品行不良或ハ怠惰ニシテ訓戒ヲ加フルモ改悛セサル者

二 試験ノ成績不良ニシテ卒業ノ目的ナキ者

三 傷疾ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ先途役務ニ堪ヘ難シト認ムル者

第二十四條 専科生ハ須要ニ應シ海軍少機關士候補生ヨリ海軍大臣之ヲ特

選入

第二十五條 専科生ノ學用品ハ自辦ト

ス但授業ニ要スル書籍及器械等其ノ

種類ニ依リ貸與スルコトアルヘシ

第二十六條 海軍機關學校ニ機關工練

習所ヲ附屬セシム

第二十七條 機關工練習所ハ掌機工及

掌罐工ト爲ルヘキ機關手及火夫ヲ教

育スル所トス

第二十八條 機關工練習所ニ左ノ職負

ヲ置ク

長 海軍大校監 一人

教官 海軍大校士 三人

部長 海軍大機關士 三人 教官ヲ以テ兼補ス

第二十九條 機關工練習所ハ校長ノ

命ヲ承ケ所内一切ノ事務ヲ管理シ紀

律ヲ維持シ及教育ノ責ニ任ス

第三十條 機關工練習所教官ハ所長

ノ命ヲ承ケ各學科ノ教授ヲ擔任ス

第三十一條 部長ハ所長ノ命ヲ承ケ部負



選入

第二十五條 専科生、學用品ハ自辦ト

ス但授業ニ要スル書籍及器械等其ノ

種類ニ依リ貸與ス

第二十六條 海軍機關學校ニ機關工練

習所ヲ附屬セシム

第二十七條 機關練習所ハ掌機工及

掌罐工ト爲ルヘ

育スル所ト

第二十八條 練習所ニ左ノ職負



ヲ置ク

長 海軍機關少監 一人

教官 海軍大機關士 三人

部長 海軍大機關士 三人 教官ヲ以テ兼補ス

第二十九條 機關工練習所長ハ校長ノ

命ヲ承ケ所内一切ノ事務ヲ管理シ紀

律ヲ維持シ及教育ノ責ニ任ス

第三十條 機關工練習所教官ハ所長

ノ命ヲ承ケ各學科ノ教授ヲ擔任ス

第三十一條 部長ハ所長ノ命ヲ承ケ部負

月 日

ノ紀律ヲ維持シ其ノ行狀技倆ヲ熟知
シ且部員ニ係ル事務ヲ掌理ス

第三十二條 第二十八條ニ掲ケル職負

ノ外機關工練習所ニ左ノ諸員ヲ置キ
上官ノ命ヲ承ケ服務セシム

海軍機關師 二人

海軍下士 六人 内三人 教員

海軍卒 九人

第三十三條 機關工練習所ニ於テ教育
スル海軍機關手及火夫ハ機關工練習

生ト稱ス

第三十四條 機關工練習生ト爲ルヘキ

者ハ海軍機關手及三等火夫以上ニシ

テ左ノ諸項ニ適合スル者タルヘシ

一 年齢三十五年未満ニシテ身體

强健ナル者

二 一箇年以上海上勤務ニ服シタ

ル者但四等火夫ヨリ起算ス

三 品行方正ニシテ技能アリ掌機

工若クハ掌罐工タルニ堪フヘ

キ者

四 卒業後七箇年間現役ニ服スヘ

キ者

五 試験ニ合格シタル者

第三十五條

機関工練習生卒業シタル

トキハ掌機工證狀若クハ掌罐工證狀

ヲ授與ス其ノ證狀ハ試験ノ成績ニ依

リ各二等ニ分ツ

前項ノ證狀ヲ得タル者ハ掌機工又ハ

掌罐工ト稱ス

第三十六條

掌機工及掌罐工ニハ臂章

ヲ附與シ且加俸ヲ給ス

第三十七條

海軍機關學校ニ技手練習

所ヲ附屬セシム

第三十八條

技手練習所ハ鎮守府造

船部及海軍造兵廠ノ職工ニシテ造船

造機及造兵ノ技手出身志願者ヲ生徒

ト爲シ之ヲ教育スル所トス

第三十九條

技手練習所ニ左ノ職負ヲ

置ク

長

海軍技監若くは海軍大技士

一人

教官

海軍少技監若くは海軍大技士
海軍大技士若くは海軍少技士

一人

所長ヨリ兼務ス

前項定員ノ外本職アル者ヲ以テ教官

ニ兼補スルコトヲ得

第四十條 技手練習所長ハ校長ノ命

ヲ承ケ所内一切ノ事務ヲ管理シ紀律

ヲ維持シ及教育ノ責ニ任ス

第四十一條 技手練習所教官ハ所長ノ命

ヲ承ケ各學科ノ教授ヲ擔任ス

第四十二條 第三十九條ニ掲ケル職員

ノ外技手練習所ニ教員トシテ技手ニ
人ヲ置ク

第四十三條 技手生徒ト爲ルヘキ者ハ

左ノ諸項ニ適合スル者タルヘシ

一 年齢満二十一年以上三十年未

満ノ者

二 品行方正ニシテ將來技手タル

ニ堪ノヘキ見込アル者

三 鎮守府造船部及海軍造兵廠ニ

於テ三百日以上現業ニ服シタ

内

局

ル者

四 身體検査及學術試験ニ合格セ
タル者

五 卒業後滿十箇年間海軍ニ從事
スヘキ者

第四十四條 左ノ諸項ノ一ニ該ル者ハ
技手生徒ニ採用セス

一 徴兵令第二十八條ニ該ル者
二 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル
者及賭博犯ノ處分ヲ受ケタル

者

三 復権ヲ得サル家資分散者破産
者及身代限ノ處分ヲ受ケ負債
ノ辨償ヲ終ヘサル者若クハ其
ノ相續人

第四十五條 技手生徒ニシテ卒業證書
ヲ有スル者ハ海軍技手トナルヘキ資
格ナルモトス

第四十六條 技手生徒ハ情願ヲ以テ退
校スルコトヲ得ス

第四十七條 第十七條第三十二條及第
四十二條ニ掲クル職員ハ海軍機關學
校及兩練習所ニ通シテ勤務セシムル
コトヲ得

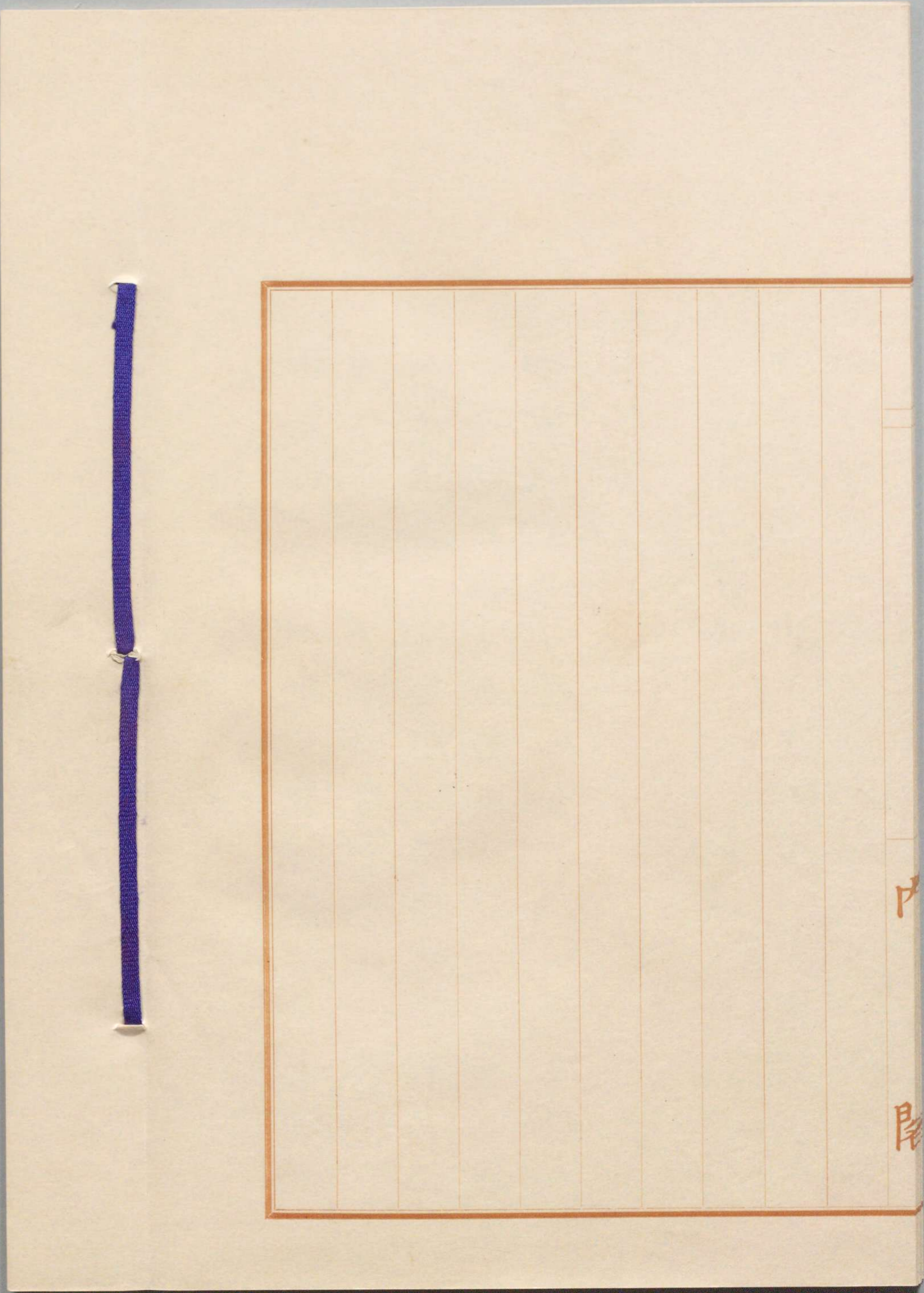
附則

第四十八條 本令ハ明治二十六年十二
月二十日ヨリ施行ス

第四十九條 明治二十三年勅令第二百
五十三號海軍機關學校條例ハ本令施
行ノ日ヨリ廢止シ該校練習生ハ此ノ

際志願ニ依リ直ニ機關工練習生ニ採
用ス

第五十條 海軍造船工學校官制ハ本
令施行ノ日ヨリ廢止シ該校生徒ハ技
手生徒トス



内

陽